

子どもみらいをスマイル100歳に！
第2弾：子どもたちに伝えたい！
生涯を通じたスポーツ習慣

平成30年 9月 5日(水)

東海大学体育学部スポーツ&レジャーマネジメント学科

教授 萩 裕美子

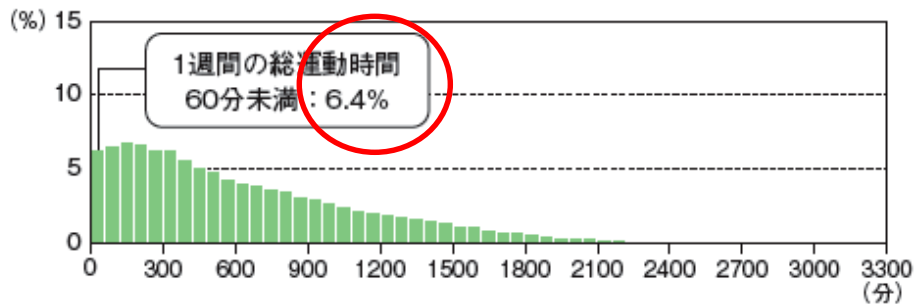
hagi@tokai-u.jp

子どものスポーツ環境を取り巻く 課題

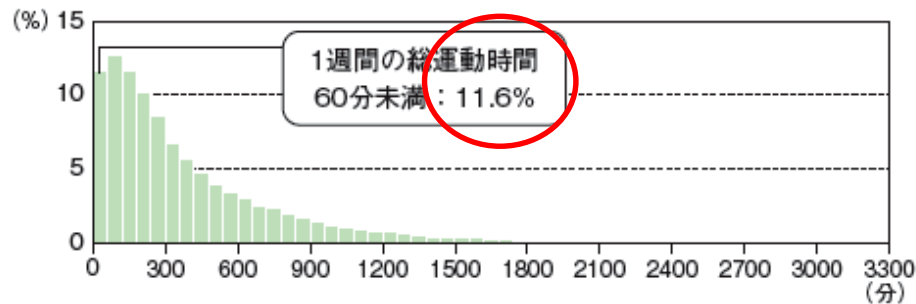
1週間の総運動時間(小学校5年生)

〈1〉 1週間の総運動時間の分布

● 男子

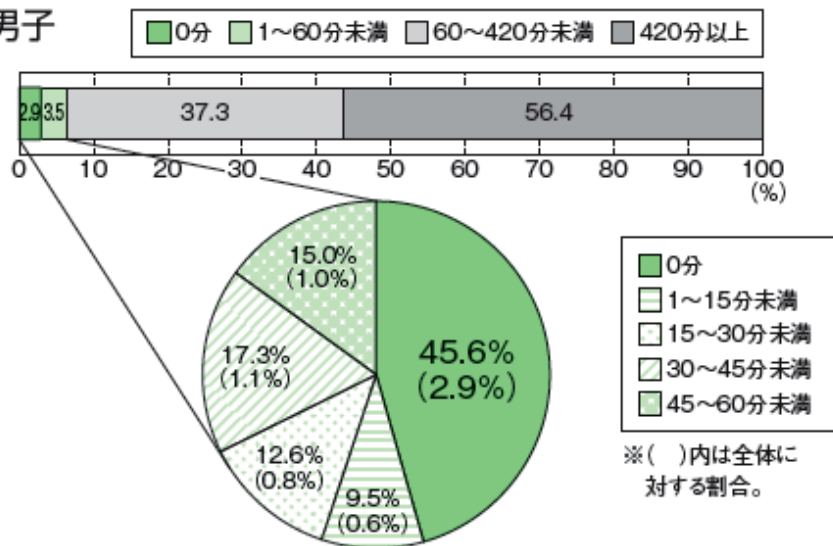


● 女子

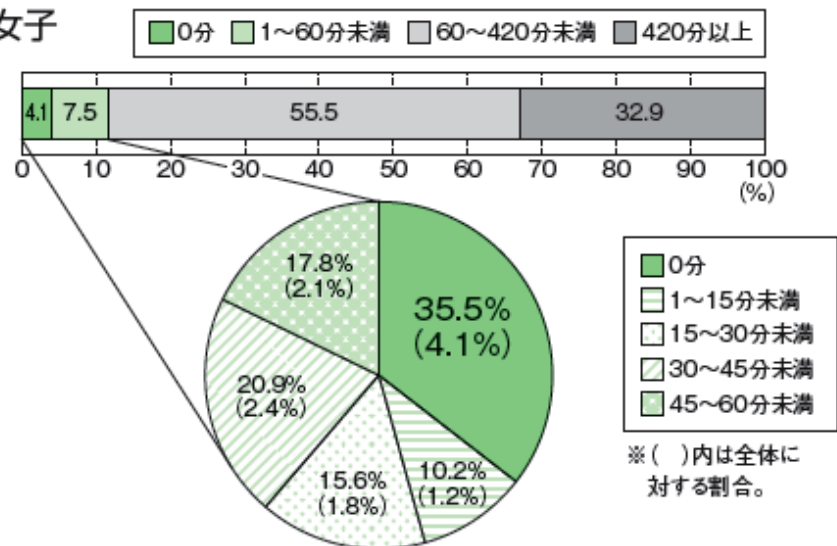


〈2〉 1週間の総運動時間の内訳

● 男子



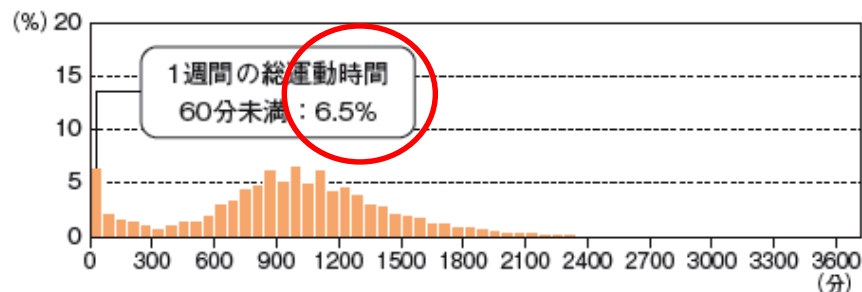
● 女子



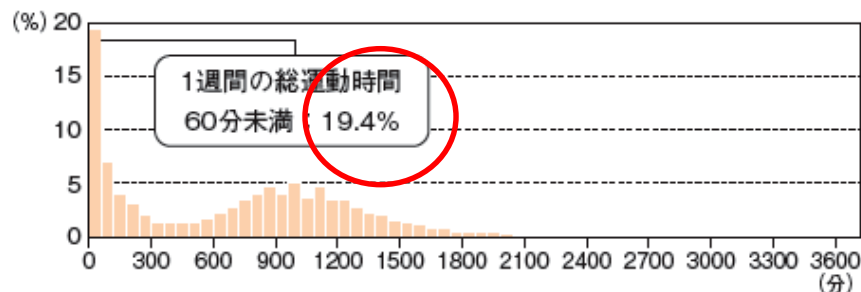
1週間の総運動時間(中学校2年生)

〈1〉 1週間の総運動時間の分布

● 男子

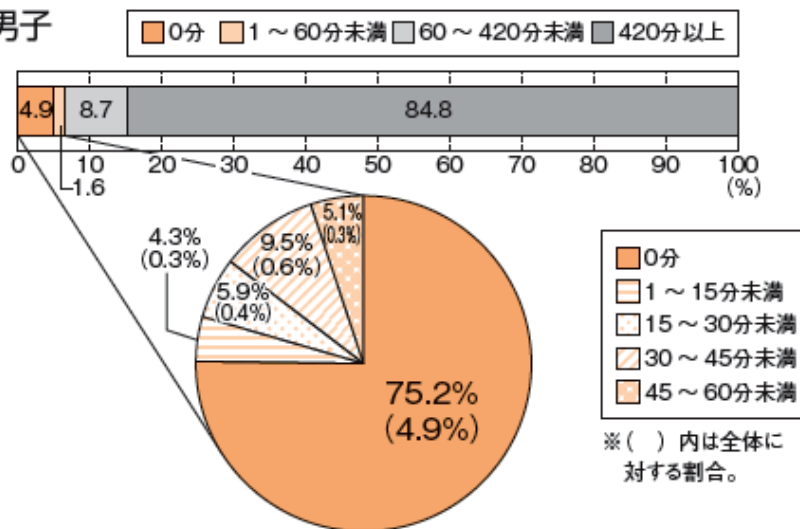


● 女子

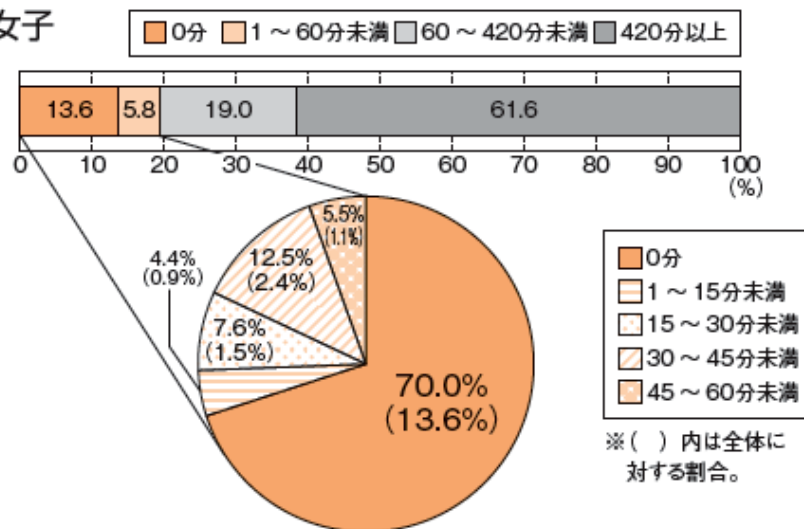


〈2〉 1週間の総運動時間の内訳

● 男子



● 女子



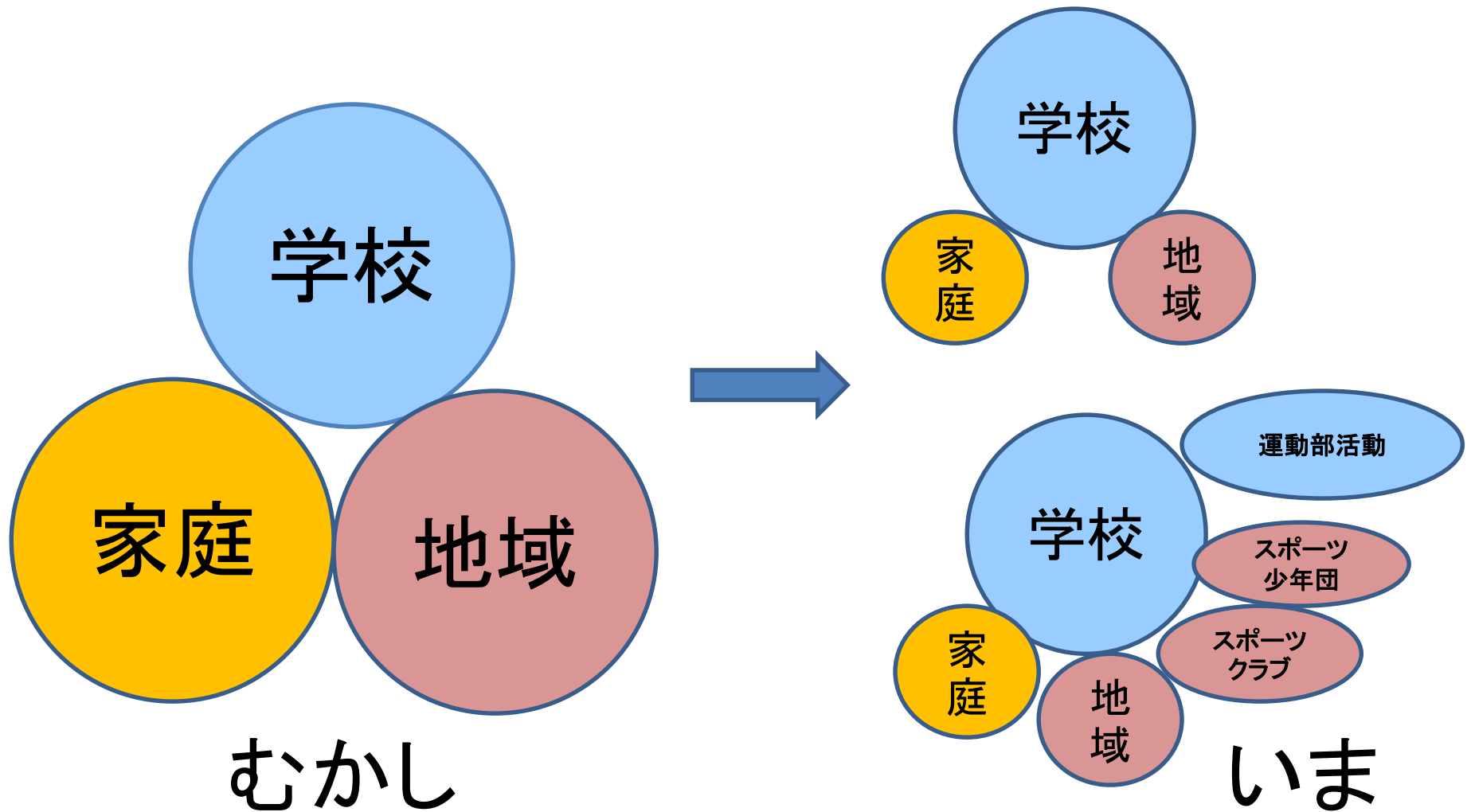
三間の喪失

時間

空間

仲間

子どもたちはどこで体を動かすのだろうか



子どものスポーツ習慣形成のために

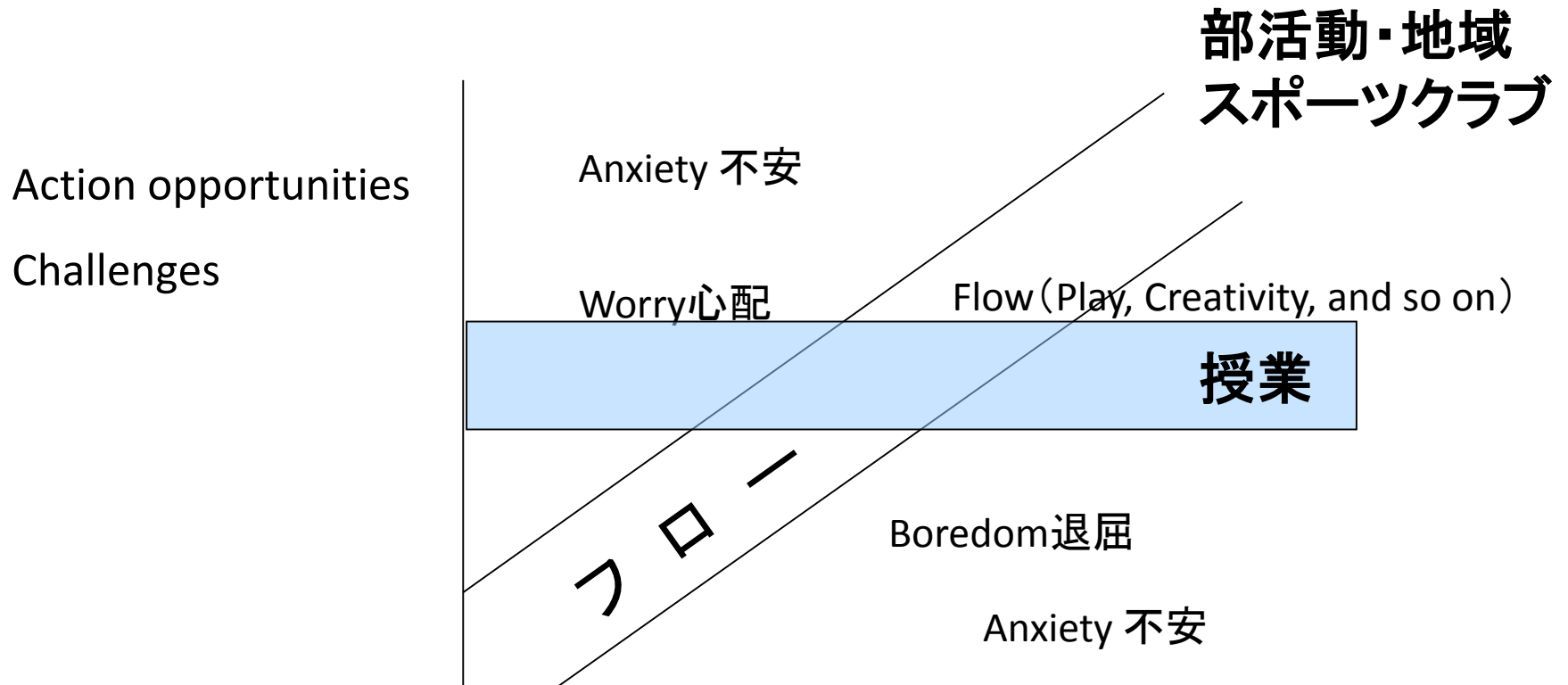
- 体を動かす時間→放課後、下校後、土日
- 体を動かす場→公園、学校、空き地、他
- 体を動かす価値の認識
 - 楽しさ、嬉しさ、ご褒美
- 継続的に定期的に行えること
 - 組織の中に入れる子ども
 - 組織の中には入りたくない子ども
 - ★子どもたちが行きたくなる居場所づくり
 - ★学校と地域の活動の連携

楽しくなければ誰もやらない

楽しさとは？

やらない理由を考える

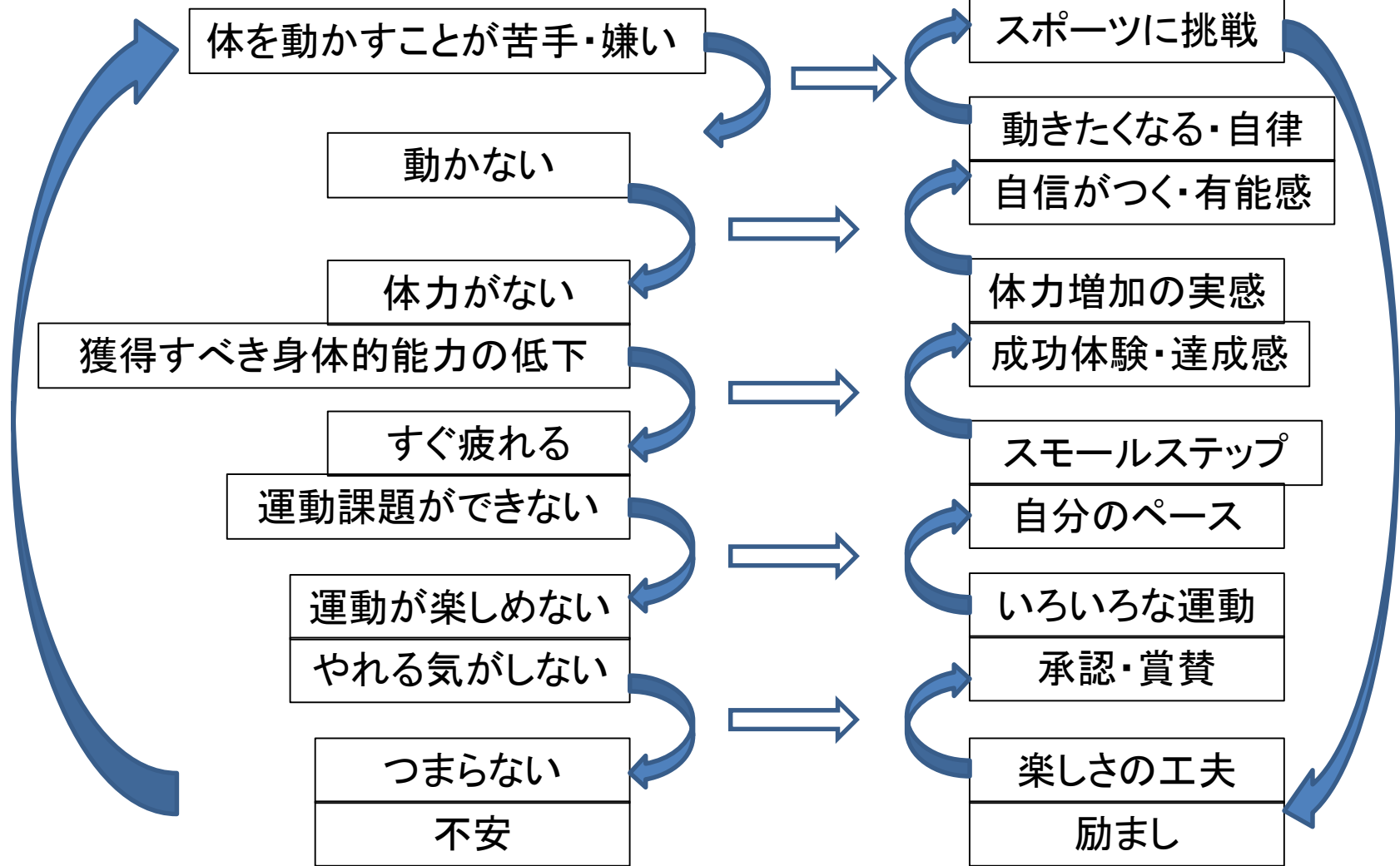
楽しさとは何か（フロー理論）



チクセントミハイ著
「楽しむということ」
思索社、1991年

負のスパイラル

正のスパイラル



運動嫌いを負のスパイラルから正のスパイラルへ

生涯スポーツ

活用

情報提供

- 学校体育
- 限られた種目
- 限られた年代
- 限られた時間
- 限られたスタッフ
- 限られたルール
- 正解主義
- 授業、業間、放課後

学校

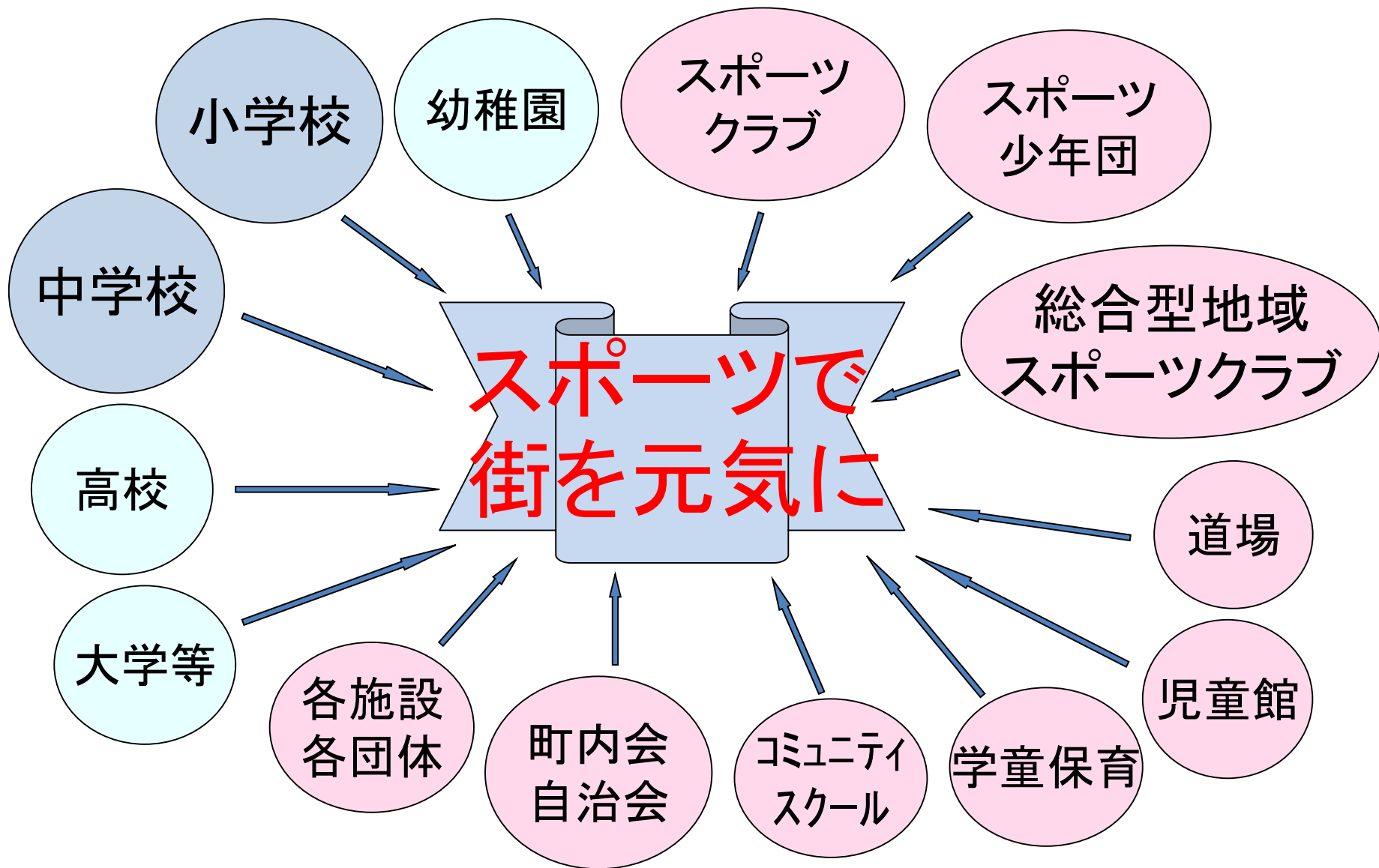
- 社会体育
- いろいろな種目
- 多世代
- 自己のペースで
- いろいろなスタッフ
- いろいろなルール
- 失敗OK
- 様々な社会的資源
自然環境、施設
プログラム、地域特性

地域

情報提供

理解

つなげる



地域の連携を可能にする要因

<人的資源>

- 強いリーダーシップ→PTA会長、校長OB、トップアスリート、有力者
- コーディネーター→世話人、いろいろな経験の持ち主、第三者
- よき理解者やグループ→保護者、チーム、応援団

<組織>

- 既存の活動団体
- 既存のコミュニティ基盤
- 最初から一緒に組織を作り上げる(連携協議会)
- 同じ土俵で「子どものスポーツ環境」を考える

<プログラム>

- 地域の特性(存在する)を活かす(自然環境、伝統、強み、誇り)
- 子どものニーズに答える

地域の連携を可能にする要因

< 継続 >

- WIN WINの関係性
- PDCAサイクルで回す
- 受益者負担と自己責任

< ルールづくりと調整機能 >

- 目的達成のための新たなルール(変化が前提)
- 危機管理と連絡調整機能

< 情報 >

- 情報発信→情報の共有・理解→協力者の確保
- 目的の共有
- 情報提供の目的と効果の確認

学校行事・地域との連携

伝統の河中エイサー



学区パレードへの参加



部活動通信（情熱）



少年団との交流



外部指導者との連携



●生徒たちの努力・活躍は、地域の数多くの場で発揮されています。更なる飛躍が楽しみです。

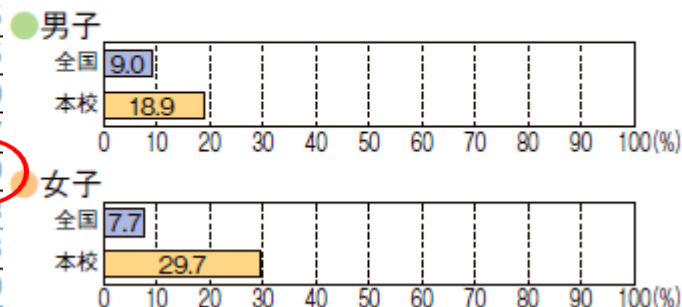
フラと和太鼓で 地域に学び、地域に貢献

本校の結果

●体力合計点と運動時間

	男子	女子
体力合計点(点)	47.3	56.5
(段階別)	A	59.5
	B	27.0
	D	2.7
	E	0.0
	AB-DE	83.8
1週間の総運動時間(分)	996.1	847.6
60分未満の割合(%)	0.0	8.0

●日によって異なる種目を行う運動部



(3) 運営体制

教員2名を顧問とし、和太鼓・フラともに地域の専門家を外部指導者として招き、指導を依頼している。生徒は他部活動との兼部の形で在籍し、現在は各運動部・文化部から71名の生徒が集まっている。他部活動との干渉を避けるため、通常は練習を昼休みに行い、公演の多いシーズンは長期休業中や週休日の午後にも練習を行っている。練習に参加する生徒の士気は高い。

地域で表現



地域の祭りに参加



表現力・自尊感情の向上 地域とのつながり



小学校運動会に参加



駅前公共スペースで発表



地域の老人福祉施設を訪問

メッセージ1

スポーツの力(価値)はすごい！

あなたはスポーツの素晴らしさを
語れますか

スポーツの価値（個人的）

体育・身体活動・スポーツに関する国際憲章（2015年）抜粋

- ・ ルールと法の順守
- ・ 自分や他者への敬意
- ・ 共同体意識と連帯
- ・ 喜び・楽しみ
- ・ 社会参画に必要な能力を学ぶ入口
- ・ 身体的、精神的、社会的満足感
- ・ 身体能力の向上、身体的リテラシー
- ・ 身体的自信、自尊心、自己効力感の向上
- ・ ストレス、不安感やうつ状態を軽減
- ・ 認知機能向上
- ・ 協調性、コミュニケーション、リーダーシップ、克己心、チームワーク
のような広範なスキルと態度の獲得
- ・ 人間関係を確立、強化
- ・ 一体感や相手を受容する気持ちを生み出す

メッセージ2

子どもたちのスポーツ環境を
整えることは大人の責任

緊急課題です！

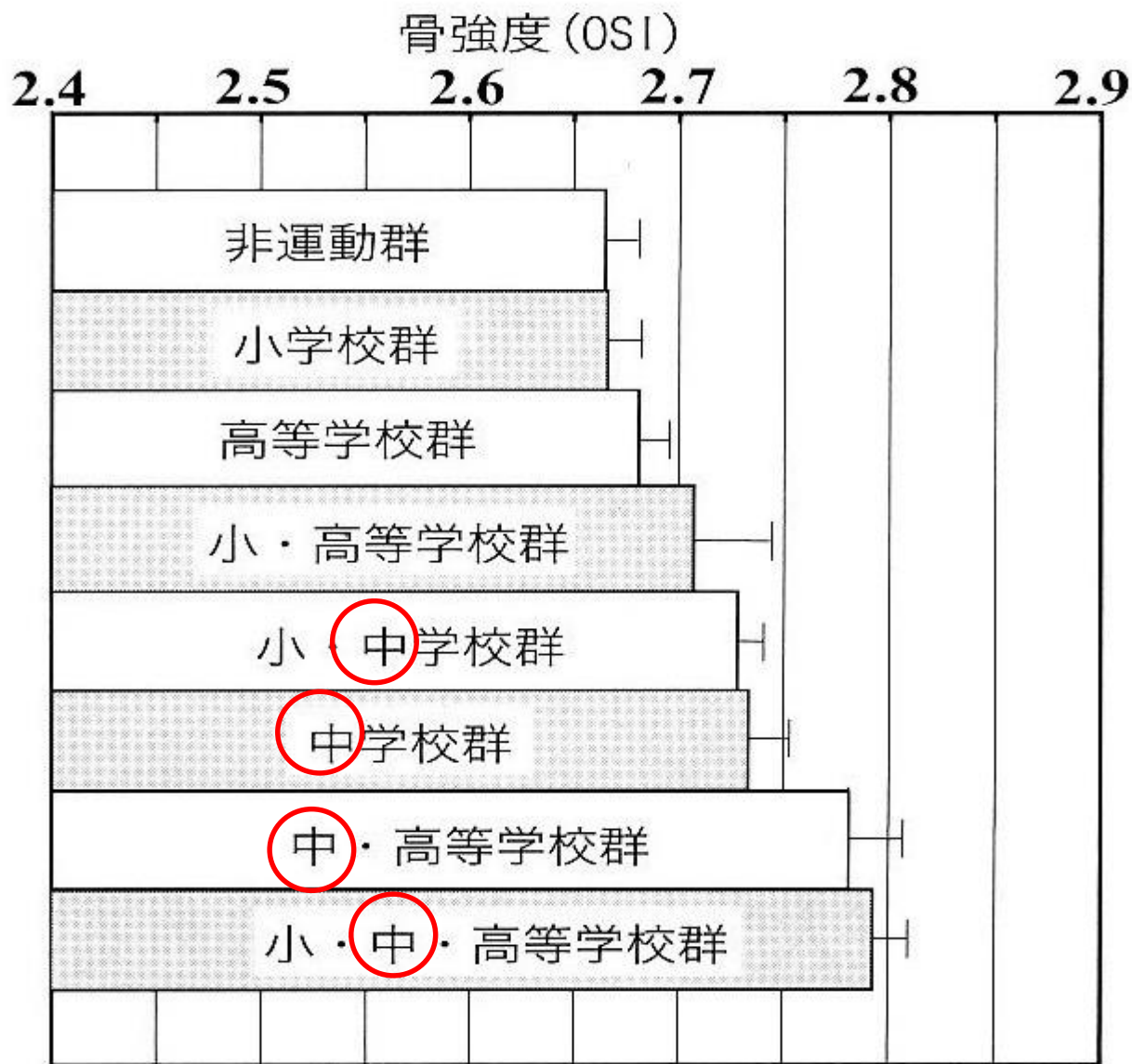


図3 運動実施時期別骨強度の比較 (n=1352)

メッセージ3

スポーツは楽しい人生を送る
ツール(教養)である

スポーツは文化としての身体活動を
意味する広い概念

スポーツとは(スポーツ基本計画2次)

スポーツには、競技としてルールに則り
他者と競い合い自らの限界に挑戦するものや、
健康維持や仲間との交流など多様な目的で
行うものがある。

例えば散歩やダンス・健康体操、ハイキング・
サイクリングもスポーツとして捉えられる。